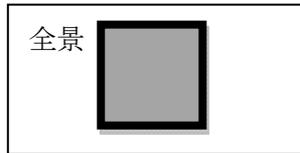


工事写真の整理方法について（構造用合板等による耐震壁の例）

原則、1 構面毎に以下の要領（手順）で撮影し、写真（1～6を1セット）を整理すること。

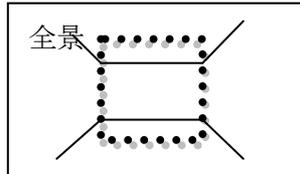
1. 耐震壁① ← 写真番号は、改修計画図及び工事見積書から位置が明確になるように関連付けて整理すること。

・ 撤去前（施工前）



2. 耐震壁① 撤去後

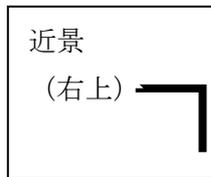
・ 施工条件の確認
・ スケールをそえ、上下の空き寸法等を確認



（梁下端から合板天端の距離など）

3. 耐震壁① 接合金物設置（設置前の金物の材料写真を含む）

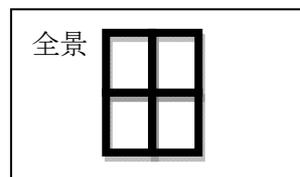
・ 設置状況を確認
・ 4 隅（柱頭・柱脚）



※筋かい等の場合は、各部材の寸法、取付方法（釘、金物）がわかるように撮影すること。

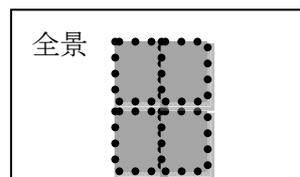
4. 耐震壁① 下地材設置

・ 間柱、受材等
・ 45×90、30×90 等の寸法を明記



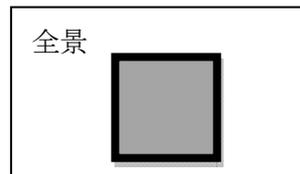
5. 耐震壁① 構造用合板設置

・ スケールをそえ、釘ピッチを確認
・ N50・100mm 以下等



6. 耐震壁① 仕上げ完了

・ (施工後)



※提出写真により、工事の施工状況（基礎・外壁・屋根工事含む）の確認を行いますが、その写真からすべての施工状況が確認できない場合は、写真等の再提出を求める場合がある他、工事費の補助ができない場合があります。

※屋根軽量化は、現状が「非常に重たい屋根」の場合は、土葺き部分の撤去前後が確認できる写真を必ず提出すること。

※変更がある場合（補助金額の変更が伴わないものに限る）は、実績報告時に変更箇所の一覧（箇条書きで可）を添え、関係する図書を提出すること。